

※本報道資料は、東商記者クラブに在籍されているメディアの方と
松戸市市政記者クラブに配布しています。

2021年7月16日
株式会社高島屋
東神開発株式会社

東神開発『流山おおたかの森S・C』 流山市と「大規模災害時における駐車場等の一時避難 施設としての使用に関する協定」を締結

株式会社高島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：村田善郎）の連結子会社である東神開発株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：倉本真祐）と千葉県流山市（市長：井崎義治）はこの度、当社が運営する『流山おおたかの森S・C』（以下、当施設）について、「大規模災害時における駐車場等の一時避難施設としての使用に関する協定（以下、本協定）」を本日、2021年7月16日に締結しました。



（左）東神開発株式会社 代表取締役社長 倉本真祐（右）流山市長 井崎義治様

流山市は西側に江戸川が流れ、洪水ハザードマップ（※1）によると4万6千人が避難指示対象となる可能性があります。本協定では、江戸川氾濫警戒情報レベル3（※2）の発令により、当施設の本館駐車場を無料開放し車中泊が可能な環境を提供いたします。加えて本館館内のトイレを開放するほか、携帯電話充電スポットも無料提供いたします。なお、当施設と流山市が災害時における連携協定を締結するのは今回が初めてとなります。また、今後水害・地震発生時における流山市との連携を予定しています。さらに街づくり・子育て・災害対応などにおいて相互連携と協働による活動を推進し市民サービスの向上と地域の活性化を目的とした「包括協定」を締結することを目標に、協議を進めております。

（※1）令和2年9月、流山市作成による

（※2）危険な場所から高齢者等は避難（内閣府：避難情報に関するガイドライン参照/令和3年5月）

東神開発は2004年から流山市の「街づくりパートナー」として、「流山おおたかの森駅」周辺の開発事業を通じて、地域に密着したコミュニティ基盤の創造と、持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。今後も自治体との連携を深めながら、地域の防災対策に貢献するとともに、地域との共生を一層高めてまいります。

■『流山おおたかの森 S・C』施設概要

所在地：千葉県流山市おおたかの森南 1-5-1
 店舗面積：約 52,000 m²
 店舗数：約 200 店舗
 開業日：2007年3月12日



■『流山おおたかの森 S・C』本館駐車場概要

駐車台数：約 1,800 台
 駐車場面積：44,435 m²(6階建て)

■『流山おおたかの森 S・C』における防災関係の取り組み（一例）

- ・『流山おおたかの森 S・C』全館での防災訓練（年2回実施）
- ・お客様・SC従業員の帰宅困難者対応（備蓄品等の整備）
- ・流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会主催
 「流山おおたかの森防災フェア」防災フェアへの参画

以上

【ご参考:流山おおたかの森駅周辺エリアの街づくり】

都市再生機構を施行者とする「新市街地地区一体型特定土地地区画整理事業」区域において、当社は2004年夏に開発事業に着手し、2007年に、「流山おおたかの森 S・C」を開業。以降、5つの施設開発を手掛け、現在は7つの施設の管理運営を行い、街の魅力や利便性向上に取り組んでいます。2021年秋には、コロナ禍で働く場所が変化する中、多様な働き方に対応できるシェアオフィスなどを導入する『NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS アゼリアテラス』が、2022年夏には、デイリーに使える機能とカルチャーやウエルネスなどを通じた地域コミュニティの場を提供する『流山おおたかの森 S・C ANNEX2』が開業します。今後も、長期的な視点による街づくり型開発により、住む人が誇りに思える地域に根差した街の発展に取り組んでいきます。

・これまでの開発について

- 2004年夏 「新市街地地区一体型特定土地地区画整理事業」に着手
- 2007年3月 流山おおたかの森 S・C（約140店舗）開業
- 2007年11月 TX グランドアベニューおおたかの森（13店舗）開業 ※2018年運営会社取得
- 2013年3月 NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS ハナミズキテラス（10店舗）開業
- 2014年3月 流山おおたかの森 S・C ANNEX1（7店舗）開業
- 2015年4月 NAGAREYAMA おおたかの森 GARDENS こもればテラス（4店舗）開業
- 2018年11月 こかげテラス（13店舗）開業
- 2021年3月 流山おおたかの森 S・C FLAPS（32店舗）開業

